北野病院図書室における図書利用分析への考察

(2) 分野別利用度よりみた雑誌の選択・収集へのアプローチ

Study on Circulation Counting in Kitano Hospital Medical Library (1978-1982)

(2) Quantitative and Qualitative Analysis

河野 しげみ* 浦上 陽子 植手 鉄男

田附興風会北野病院図書室

Kono S, et al. Study on Circulation Counting in Kitano Hospital Medical Library (1978 - 1982) : (2). Quantitative and qualitative analysis. *Igaku Toshokan* 1987 ; 34(1) : 33-45.

Circulation counting in Kitano Hospital Medical Library during 1978-82 was analyzed. The total number of foreign medical journals used was 701 and that of Japanese journals was 367 about half of foreign journals. Medical journals dealing with various areas were used more than the journals of specific fields. The periodicals in basic medical science were much less used than those in clinical medicine (3% vs 97%). In various medical fields, 80% of the total use was covered by the top 5 journals. The results of this study may be useful for selecting medical journals efficiently in a small hospital library with a restricted budget.

I. はじめに

図書室における使命の一つに良書の収集がある。中でも雑誌は、利用度の高さから図書資料としての重要性において最たるものであり、その収集に際してはより厳密な評価選定が必要とされる。また近年利用者の要求も多種多様となり、広範囲な蔵書構成が図書室に求められるようになってきた。加えて年々増大する雑誌量とその価格の高騰は、図書室の運営を甚だしく困難なものにしている。このような現状下において予算・スペース・人員等の制約を受けながら、いかに適切な、また最大限に有効な雑誌収集を行い得るかが、図書室の良否を左右する重要なポイントと言えよう。

それ故、我々は雑誌を選択・収集する際の基礎資料を得る為に、雑誌の利用度という数量的・客観的データに基づき、本院で利用された種々の雑誌について分

析評価を行った。更に、一定の予算額に応じて利用度の高い雑誌から順次収集した場合、利用要求度に対してどの程度の充足率が得られるかを検討してみた。すなわち本研究は、雑誌利用度と雑誌購入費とのかかわりの中から、適切な雑誌収集への示唆を見出すことを目的としたものである。この結果が、各種病院図書室における雑誌収集の参考になればと考える。

II. 方 法

当北野病院（病床数740、総合病院）において、1978～82年の5年間に職員（医師、臨床検査技師、薬剤師、看護婦、事務職員等）の利用した各種学術雑誌を洋雑誌と和雑誌に分け、更にこれらを主題別に分類して各分野内での利用順位を検討した。

この統計資料は、当病院図書室所蔵雑誌の貸出及び複写件数と外部図書館への複写申込件数を集計したものである。なお二次資料、図書館学資料、医学関係以外の資料は調査対象から除外した。また雑誌によってはすでに廃刊になっていたり、誌名変更、他雑誌との

* Kono SHIGEMI : Kitano Hospital Library. 13-3, Kamiyama-cho, Kita-ku, Osaka 530, Japan.

合併、分離等変遷を経ているものもあるが、あくまで利用された発行年の時点における誌名を用いた。雑誌価(考察4で述べている)の算出方法については、各書店の1985年版雑誌カタログ、学会便覧等によってわかる範囲内で概算した。

Ⅲ. 結 果

1. 洋・和雑誌の利用タイトル数と利用件数

(表1, 2)

調査の結果、利用された洋雑誌は701タイトル、9,874件、同じく和雑誌は367タイトル、5,656件であった。これより洋雑誌は利用誌数の上で和雑誌の約1.9倍、利用件数においては約1.7倍上回っていることがわかった。

2. 洋雑誌の分野別利用頻度(表1, 3)

・医学一般

総利用誌数701タイトル中、医学一般分野の雑誌が117タイトルを占めていた。また1位「N Engl J Med」(総合順位1位)以下、上位5誌は全ての分野を総合した順位で19位までに入った。充足率に関しては1位の雑誌のみで20.5%、2位から5位まではそれぞれ34.7%、45.2%、52.3%、58.0%であった。

・基礎医学

各種基礎医学雑誌の利用順位は表1に示す如くである。表3の各種基礎系分野(Ⓔ印)において1位の雑誌で70%の充足率を得たのは生理学のみであった。生物学は上位2位までの雑誌で100%利用を充足したが、5位までを含めても生化学、薬理学・薬学、微生物学・ウイルス学(寄生虫病学)の3分野は70%に充たない低い充足率であった。

・臨床病理学

1位は「Am J Clin Pathol」(総合順位59位)で、充足率79.2%だった。

・臨床化学

1位「Clin Chim Acta」(総合順位90位)、2位「Clin Chem」(同171位)、3位「Adv Clin Chem」(同211位)の3誌で80.0%の充足率を示した。

・臨床検査

上位1, 2位は各々「Electromyogr Clin Neurophysiol」(総合順位61位)と「JCU」(同128位)で、合わせると93.9%の充足率だった。

・放射線医学・X線学・核医学

1位「Radiology」、2位「AJR」が各々総合順位8位と12位にあり、充足率はこの2誌で81.0%に及んだ。

・内科学

内科学一般、代謝・栄養、血液学、老年医学・老人学、心臓・循環器系、肺・呼吸器系、消化器系、内分泌系、免疫・アレルギー、感染症といった内科学分野においては、その大部分の1位雑誌が総合順位では50位までであった。また心臓・循環器系と消化器系分野は上位3誌で各々78.8%と70.1%、その他にいたっては上位2誌で70~80%の利用要求を充足していた。

・悪性新生物

利用第1位の「Cancer」1誌で分野全体の74.4%の利用を充たし、5位までの雑誌を合わせると分野充足率は90.8%であった。

・筋・骨格系・リウマチ学

これらの雑誌の利用頻度は低く、総合順位146~302位の間に位置していた。

・脳・神経系・神経学

1位「Neurology」と2位の「Arch Neurol」は総合順位でも5位と7位にランクされ、2誌の分野充足率は49.6%であった。

・精神医学・臨床心理学

利用誌数は42誌と他の分野に比較して多かった(平均分野利用誌数は18誌)が、利用件数は275件で誌数に比して少数であった。充足率は4位までで72.4%であった。

・小児科学

「J Pediatr」(総合順位9位)、「Pediatrics」(同17位)、「Am J Dis Child」(同38位)の順で上位を占め、3誌の充足率は73.0%であった。

・外科学

外科学一般では1位「Ann Surg」が総合で14位にランクされ、以下5位までの雑誌は53位以内に入っ

ていた。充足率は1位の「Ann Surg」のみで19.4%、2位までで37.9%、3位までで55.5%、5位では73.6%であった。整形外科・形成外科学では「J Bone Joint Surg」が1位で、総合順位でも15位と高位を占め、分野充足率は77.3%であった。同様に脳神経外科学においても「J Neurosurg」(総合順位25位)に利用が集中し、1誌で利用要求の74.7%を充足した。

・麻酔学

1位「Anaesthesist」が総合順位98位、4位の「Year Book Anesthesia」と「Br J Anaesth」は同171位であった。3位までの充足率は67.2%であった。

・眼科学

順位は1位から「Arch Ophthalmol」(総合順位23位)、2位「Am J Ophthalmol」(同28位)、3位「Trans Am Acad Ophthalmol Otolaryngol」(同55位)と続き、68.5%の充足率を3誌で占めた。

・耳鼻咽喉科学

充足率は4位までの雑誌で74.8%、5位までになると87.2%になった。その内訳は1位「Arch Otolaryngol」(総合順位37位)、2位「Acta Otolaryngol」(同43位)、3位「Laryngoscope」(同46位)、4位「J Laryngol Otol」(同50位)、5位「Ann Otol Rhinol Laryngol」(同57位)であった。

・皮膚科学

「Arch Dermatol」が分野内における利用第1位、総合順位でも第2位で皮膚科学の全利用件数の91.8%を充たしていた。

・泌尿器科学

1位の「J Urol」(総合順位39位)と、続く2位の「Urology」(同79位)の両誌で分野利用の66.9%を充足した。

・産婦人科学

総合順位58位の「Am J Obstet Gynecol」と、同じく79位の「Obstet Gynecol」が分野内で1位と2位を占めた。この2誌による充足率は74.1%であった。

・口腔外科・歯科学

この分野における全利用件数は34件、それに対する全利用誌数は13誌だった。また5位までの雑誌の充足率は64.7%になった。

3. 和雑誌の分野別利用頻度(表2, 4)

・医学一般

利用度の高い順に「日本医事新報」(総合順位1位)、「日本臨牀」(同3位)、「医学のあゆみ」(同7位)、「総合臨牀」(同11位)、「最新医学」(同15位)となっている。またこれら上位5誌で分野利用の約60%を充たしていた。

・基礎医学

解剖・発生・組織・細胞学、遺伝学、生理学、生化学、薬理学・薬学、病理学、微生物学・ウイルス学(寄生虫病学)、公衆衛生の8分野中、5分野までが1位の雑誌のみで約70%の充足率を示し、2位の雑誌を含めると8分野全ての充足率が85%を超えた。

・臨床検査

「臨床脳波」(総合順位6位)が分野利用1位で充足率66.2%、2位の「臨床検査」(同26位)を合わせると92.3%になった。

・診断・治療

1位は「診断と治療」(総合順位24位)で、本誌のみで利用要求の75.9%を充足した。

・放射線医学・X線学・核医学

57.7%の充足率を示して「日本医学放射線学会雑誌」(総合順位51位)が1位だった。

・内科学

内科系の各分野(㊤印)において、利用度の高い1位の雑誌だけで70%近い充足率が得られたのは、内科学一般、心臓・循環器系、免疫・アレルギー等の各分野であった。2位の雑誌まで加わえると血液学、老年医学・老人学、消化器系、内分泌系の4分野が、更に3位までの雑誌を加えることによって、残る代謝・栄養、肺・呼吸器系、感染症といった分野も70%以上の充足率を示した。

・悪性新生物

1位の「癌の臨床」は総合順位28位、次いで2位の「癌と化学療法」は105位であった。充足率は1位のみで62.2%、2位を含めると75.6%であった。

・脳・神経系・神経学

利用第1位は「脳と神経」(総合順位8位)で、1位のみの分野利用充足率は52.5%、続く2位の「神経

研究の進歩」(同14位)を合わせると94.3%に増加した。

・精神医学・臨床心理学

利用の多い順に1位「精神医学」(総合順位13位), 2位「精神神経学雑誌」(同25位), 3位「臨床神経学」(同56位)となり, 3誌の充足率は69.7%であった。

・小児科学

1位より「小児科臨床」(総合順位18位), 「小児医学」(同35位), 「小児科診療」(同45位)と続き, 充足率はこれら3位までの雑誌で66.0%だった。

・外科学

外科学一般の場合, 上位5誌の利用によって約80%の充足率を得たが, 整形外科・形成外科学においては, 「整形外科」(総合順位2位)と「日本整形外科学会雑誌」(同21位)の2誌でそれを上回る充足率を示した。脳神経外科学は利用頻度, タイトル数共にわずかであった。

・麻酔学

利用タイトル数は2誌と少なく, 故に分野充足率は2誌で100%という数値を示した。

・眼科学

利用の多い順に「臨床眼科」(総合順位40位), 「日本眼科学会雑誌」(同51位), 「日本眼科紀要」(同57位), 「眼科臨床医報」(同68位)と続き, 充足率は1位のみで27.4%, 次いで2位, 3位, 4位までそれぞれ47.9%, 66.4%, 79.5%と増加した。

・耳鼻咽喉科学

上位5誌が総合順位57位までに入り, 分野利用1位は「耳鼻咽喉科」(総合順位4位), 2位「日本耳鼻咽喉科学会会報」(同5位), 3位「耳鼻咽喉科臨床」(同11位)という内訳で, これら3位までの充足率は75.4%だった。

・皮膚科学

「皮膚科の臨床」(総合順位86位)と「日本皮膚科学会雑誌」(同86位)が同件数で最も利用が多く, 両誌で利用の70.0%を充たした。

・泌尿器科学

総合順位31位の「日本泌尿器科学会雑誌」が分野利用の1位で, 次いで同じく総合順位60位の「臨床泌尿器科」が第2位を占め, 2誌の充足率は65.5%だった。

・産婦人科学

「産婦人科治療」(総合順位37位), 「助産婦雑誌」(同45位), 「産科と婦人科」(同61位), 「産婦人科の世界」(同62位)が1位から4位までで, 充足率は1位のみ26.1%, 2位まで47.9%, 3位まで62.4%, 4位まで76.4%となった。

・口腔外科・歯科学

利用件数69件に対し, 利用誌数は18誌だった。また1位は「歯界展望」(総合順位71位), 2位「日本口腔科学会雑誌」(同109位), 3位「日本口腔外科学会雑誌」(同114位), 4位「口腔病学会雑誌」(同135位)と続き, 5誌の利用充足率は72.5%だった。

・看護学

「看護」(総合順位29位)が1位で22.1%の充足率, 2位の「看護技術」(同31位)を合わせると43.3%, 3位「看護教育」(同34位)までになると62.1%の充足率になった。

IV. 考 察

1. 医学一般雑誌(総合雑誌)の高利用度と充足率

1978~82年に至る5年間に於いて最もよく利用されたのは, 洋雑誌・和雑誌に共通して医学一般を取り扱った総合雑誌であった。その利用件数は, 洋・和雑誌それぞれにおける総利用件数の23%に及んでいた。これは雑誌の性質から考えて順当な結果と言えよう。洋雑誌における医学一般雑誌の利用誌数は117, 和雑誌では102とかなり多誌にわたって利用されているようであるが, その実態はわずか利用上位5誌で60%近くが充足されていた。つまり主に利用される雑誌が数誌に限られており(洋雑誌の場合1位「N Engl J Med」, 2位「Lancet」, 3位「Am J Med」, 4位「JAMA」, 5位「Br Med J」, 和雑誌の場合1位「日本医事新報」, 2位「日本臨牀」, 3位「医学のあゆみ」, 4位「総合臨牀」, 5位「最新医学」), それ以外の大部分の雑誌は低い利用率にとどまっていた。またこれら医学一般分野における5位までの雑誌は, 利用全体からみてもかなり上位にランクされていることから重要雑誌と評価される。ちなみにこれら医学一般雑誌の利用が

多いことは、当図書室のみならず大学図書館においても同様である。若干調査年代が古くなるが、1964年に津田氏等をはじめとして数多く報告された雑誌利用調査^{1)~8)}や、田中氏による引用文献調査⁹⁾、更には1970年代になされた同種の調査^{10)~13)}等の結果からそれは明らかである。

2. 各分野別利用度と充足率

個々の分野において雑誌の充足率をみると、比較的良好に利用される分野では、利用率の高い数誌のみでその分野における利用の70~90%を充足している場合が多かった。特に洋雑誌では悪性新生物の「Cancer」74.4%、皮膚科学の「Arch Dermatol」91.8%、整形外科・形成外科学の「J Bone Joint Surg」77.3%、脳神経外科学の「J Neurosurg」74.7%、和雑誌では内科学一般の「内科」68.1%、心臓・循環器系の「呼吸と循環」66.7%、整形外科・形成外科学の「整形外科」61.4%、臨床検査の「臨床脳波」66.2%、脳・神経系・神経学の「脳と神経」52.5%等に至っては、1誌でその分野における大半の利用要求を充たしていた。つまりこれらは各分野内での重要雑誌と考えられる。

反対に利用率の比較的低い分野、例えば洋雑誌における診断・治療、筋・骨格系・リウマチ学、麻酔学、口腔外科・歯科学、臨床化学の各分野や、和雑誌における代謝・栄養、感染症、皮膚科学、口腔外科・歯科学等の分野では利用雑誌が分散しており、その件数にもさほど差がみられなかった。よって分野内での充足率も各誌平均化していた。また主に基礎関係分野に代表されるように、利用件数が極めて低いにもかかわらず、利用誌数が少ない為に1誌当りにかかる比重が高くなり、当該分野の充足率が100%近くあるものも統計上みられた。このような場合、各分野内における重要雑誌の判別が困難となり、雑誌収集に際してどこに選択基準をおくかが問題となってくる。今回の試みは、あくまで利用件数という具体的に表われた数値の顕著なものを取り上げ、雑誌選定のデータとしている為に、これだけでは判断し得ない前述の分野においては更に雑誌の質の評価にかかわる調査が必要かと思われる。

次に、全分野をとおして1位から5位までの雑誌の

順位別に充足度を検討してみた。まず洋雑誌に関して各分野から利用1位を占めた雑誌のみ収集すると、洋雑誌総利用件数の38%を充足することができる。2位までの雑誌では57%、3位68%、4位76%、5位まででは80%に及び、これは洋雑誌の総利用誌数701タイトル中のわずか3分の1にも充たない212タイトルの雑誌にすぎない。同様に和雑誌では、1位が和雑誌総利用件数の40%、2位までが61%、以下3位73%、4位80%と続き、和雑誌総利用誌数367タイトルの半分以上に当る5位までの雑誌175タイトルで、85%という高い充足率を示している。また洋雑誌・和雑誌のそれぞれ利用1位雑誌を共に収集した場合の総利用件数に対する充足率は39%であった。2位までの洋・和雑誌では59%、3位70%、4位77%、5位82%となり、各分野において洋・和それぞれ5誌まで有することかなりの利用要求を充たし得ることがわかった。

しかし、分野においては利用件数に相当差異があることから、当該分野内における利用順位が低いにもかかわらず、他の分野の利用上位雑誌に比較してはるかに利用度の高い雑誌もみられる。その1例が、医学一般分野において6位以下に位置する「Nature」、「Science」、「臨床と研究」等であり、これらは他の分野において利用1位となった雑誌の利用件数をしのいでいる。よって、各分野から一律に利用上位雑誌を収集する方法は、一見蔵書構成上バランスがとれているようであるが、その実、利用面においては無駄を含んでいる。分野別にみて若干そのタイトル数に不均衡が生じたとしても、利用率の高い雑誌を数多く収集することが、利用要求度に対する充足率を更に高めるものとするからである。

3. 本院図書室(病院図書室)と大学医学部図書館における利用傾向の比較

利用された雑誌を基礎系と臨床系に大別してみると、先に我々が報告した如く¹⁴⁾、当病院図書室においては基礎医学分野の雑誌利用度が臨床医学分野の利用度に比べて著しく低かった(3%対97%)。これは大学図書館からの報告^{1)~13)}と比較すると非常に対照的である。しかしながら、基礎分野の中の例えば生化学の

利用率は総利用件数中わずか0.52%であるが、利用された雑誌、特に洋雑誌に関して1位「J Biol Chem」, 「Anal Biochem」, 3位「Biochem Biophys Res Commun」という順位は、生化学雑誌の極めて利用度の高い大学図書館と同じであった。生理学分野の場合も同様で、利用度の面では大学図書館と大差はあっても「Am J Physiol」, 「J Physiol」が利用の上位を占めている点では共通していた。

一方、当院図書室で頻繁に利用される臨床系分野について分析してみると、先ず内科学一般では洋雑誌は「Ann Intern Med」, 「Arch Intern Med」, 「Adv Intern Med」, 和雑誌は「内科」, 「日本内科学会雑誌」といった順で利用度が高かった。また外科学一般の場合は利用度の高いものから洋雑誌は「Ann Surg」, 「Am J Surg」, 「Surg Gynecol Obstet」, 「Surgery」, 和雑誌は「臨床外科」, 「手術」, 「外科」等であった。この様な所見は各大学図書館の報告¹⁷⁻¹⁹⁾と類似している。以上のことから、当病院図書室において利用頻度の高い臨床系分野、低い基礎系分野のいずれの場合も、その中でよく利用される専門雑誌は大学図書館と同じであることがわかった。

4. 雑誌利用度と経済性

雑誌収集が分野別の利用順位に添って行われた場合どの程度の経費を要するものか、1985年度時点における雑誌価から概算してみた。

洋雑誌の場合、各分野における利用1位雑誌の購入総額は約230万、2位までの雑誌では430万、3位680万、4位840万、5位まで収集すると1,100万を要する。一方和雑誌では1位80万、2位140万、3位170万、4位200万、5位230万となる。洋・和雑誌を合わせると1位から順に約310万、570万、850万、1,040万、1,330万という金額になる。

そこで、先に述べたそれぞれの順位から得られた充足率と予算額とをオーバーラップさせながら、各種の制約の範囲内において雑誌収集を行うといった方法も検討の価値があると思われる。図書費の潤沢な図書館は例外として、雑誌価の値上りにスライドした予算の上昇が望めない大部分の図書館では、時代の流れと共に

に多様に変動する利用者要求のはざまで、収集雑誌の調整を行わなくてはならない困難な状況におかれている。その際の判断基準となり得るものは、雑誌の利用状況から評価した必要性、及び雑誌の質的内容から評価した重要性の有無であろう。

5. 病院図書室のあり方

病院図書室にミニ大学図書館の概念はあてはまらない。病院図書室には“Clinical Medical Library”としての特殊性のあることを留意せねばならない。この視点より、本稿に提示した5年間の雑誌利用統計データ(表1-4)は、病院図書室における雑誌収集の際の考察資料として有意義な情報を提供するものと思われる。

V. 結 論

1. 病院図書室、いわゆる Clinical Medical Library が、限られた予算の範囲内でいかに適切な雑誌収集を行うかを究明するために、北野病院図書室における1978～82年の5年間の雑誌利用内容を分析した。
2. 洋雑誌の5年間の総利用件数は9,874件、年平均1,975件、和雑誌5,656件、年平均1,131件、利用誌数は洋雑誌701タイトル、和雑誌367タイトルであった。このことより、洋雑誌の利用が誌数・件数ともにおいて和雑誌の約2倍であることがわかる。
3. 基礎医学雑誌の利用率は臨床医学雑誌に比較して洋・和雑誌共に極めて低く、総利用件数の約3%であった。
4. 各分野別に利用度を分析すると、医学一般雑誌(総合雑誌)が総利用件数の約23%を占め、洋・和雑誌共に最も多く利用されていた。
5. 各分野における1位から5位までの利用度の高い雑誌で、総利用件数の80%を充足していた。
6. 本研究結果、特に各種雑誌の利用度の分析は、病院図書室の雑誌収集が予算・規模に応じてなされる場合の参考資料として役立つものと思わ

れる。すなわち医学総合雑誌を中心に各分野の
利用頻度の高いものを適切に選べば、少ない予

算においても個々の病院に適した効率の良い医
学雑誌の収集が可能であると考えられる。

*

*

*

表1. 洋雑誌分野別利用ベスト5

総利用タイトル数 701 総利用件数 9,874

〔 〕は利用件数 ○は利用総合順位

医学一般 2,258件	1. N Engl J Med[462]① 2. Lancet[322]③ 3. Am J Med[237]⑥ 4. JAMA[160]⑬ 5. Br Med J[128]⑲ 6. Nature[124]⑳ 7. Science[91]⑳ 8. J Clin Invest[58]④④ 8. Medicine[58]④④ 10. Mayo Clin Proc[50]④⑨ その他107タイトル
生物学 7件	1. Arch Ital Biol[2]③② 2. Acta Exp Med Biol[1]④⑤ 2. C R Soc Biol[1]④⑤ 2. Dev Biol[1]④⑤ 2. Folia Biol[1]④⑤ 2. Hum Biol[1]④⑤
解剖・発生・ 組織・細胞学 20件	1. Cell[4]②① 1. Teratology[4]②① 1. Am J Anat[4]②① 4. Biol Anat[2]③② 5. Acta Morphol Acad Sci Hung[1]④⑤ 5. Anat Rec[1]④⑤ 5. Cell Tissue Res[1]④⑤ 5. J Anat [1]④⑤ 5. J Cell Sci[1]④⑤ 5. J Supramol Struct[1]④⑤
遺伝学 15件	1. Am J Med Genet[4]②① 2. Am J Hum Genet[3]②④ 2. Clin Genet[3]②④ 4. J Med Genet[2]③② 4. Hum Genet[2]③② その他1タイトル
生理学 40件	1. Am J Physiol[28]⑥⑧ 2. J Physiol[3]②④ 3. Biophys J[2]③② 3. J Appl Physiol[2]③② 5. Acta Physiol Scand[1]④⑤ 5. Appl Neurophysiol[1]④⑤ 5. J Phys [E][1]④⑤ 5. Q J Exp Physiol[1]④⑤ 5. Physiol Rev[1]④⑤
生化学 59件	1. J Biol Chem[11]②① 1. Anal Biochem[11]②① 3. Biochem Biophys Res Commun [5]③⑥ 4. Biochem J[4]②① 4. Mol Cell Biochem[4]②① その他14タイトル
薬理学・薬学 50件	1. Br J Clin Pharmacol[8]④④ 2. Am J Hosp Pharm[5]③⑥ 3. Biochem Pharmacol [4]②① 4. Ariz Med[3]②④ 4. Drug Intell Clin Pharm[3]②④ 4. Toxicol Appl Pharmacol [3]②④ その他19タイトル
病理学 60件	1. Am J Pathol[24]⑦⑥ 2. Arch Pathol[10]①②③ 3. Acta Pathol Microbiol Scand[6]①⑦ 4. Hum Pathol[5]③⑥ 5. Arch Pathol Lab Med[3]②④ その他9タイトル
微生物学・ウイルス学 (寄生虫病学)32件	1. J Clin Microbiol[6]①⑦ 1. J Pathol Bacteriol[6]①⑦ 3. J Bacteriol[3]②④ 3. J Virol [3]②④ 3. Prog Med Virol[3]②④ その他9タイトル
臨床病理学 48件	1. Am J Clin Pathol[38]⑤⑨ 2. J Clin Pathol[10]①②③
臨床化学 35件	1. Clin Chim Acta[18]⑨⑨ 2. Clin Chem[6]①⑦ 3. Adv Clin Chem[4]②① 4. Clin Biochem [3]②④ 5. Ann Clin Lab Sci[2]③② その他2タイトル
臨床検査 49件	1. Electromyogr Clin Neurophysiol[36]⑥① 2. JCU[10]①②③ 3. Clin Electroencephalogr [1]④⑤ 3. J Magnetic Resonance[1]④⑤ 3. Stain Technol[1]④⑤
診断・治療 11件	1. Therapiewoche[3]②④ 1. J Antimicrob Chemother[3]②④ 3. Curr Ther Res[2]③② 4. Compr Ther[1]④⑤ 4. Ther Hung[1]④⑤ 4. Antimicrob Agents Chemother[1]④⑤
放射線医学・X線学・ 核医学 457件	1. Radiology[198]⑧ 2. AJR[172]①② 3. Neuroradiology[12]①⑥ 4. J Comput Assist Tomogr[10]①②③ 4. Br J Radiol[10]①②③ その他21タイトル
内科学一般 316件	1. Ann Intern Med[183]⑨ 2. Arch Intern Med[95]③② 3. Adv Intern Med[22]⑧① 4. Am J Med Sci[9]③③ 5. Annu Rev Med[7]①⑤⑥
代謝・栄養 75件	1. Metabolism[32]⑥⑤ 2. Diabetes[28]⑥⑧ 3. Am J Clin Nutr[7]①⑤⑥ 4. Diabetologia [5]③⑥ 5. J Inherited Metab Dis[2]③② その他1タイトル
血液学 236件	1. Blood[124]②① 2. Br J Haematol[52]④⑧ 3. Acta Haematol[8]④④ 4. Scand J Haematol[7]①⑤⑥ 5. Thromb Res[5]③⑥ 5. Angiology[5]③⑥ その他16タイトル
老年医学・老人学 6件	1. Geriatrics[4]②① 2. Age Ageing[1]④⑤ 3. Gerontology[1]④⑤
心臓・循環器系 353件	1. Am Heart J[96]③① 2. Am J Cardiol[95]③② 3. Circulation[87]③⑤ 4. Br Heart J [32]⑥⑤ 5. Prog Cardiovasc Dis[17]⑨② その他13タイトル

肺・呼吸器系 234件	1. Chest[99]②⑨ 2. Am Rev Respir Dis[63]④② 3. J Thorac Cardiovasc Surg[42]⑤⑤ 4. Ann Thorac Surg[15]⑩⑥ 5. Respiration[3]⑤④ 5. Scand J Thorac Cardiovasc Surg [3]⑤④ その他7タイトル
消化器系 221件	1. Gastroenterology[122]②② 2. Dis Colon Rectum[19]⑧⑦ 3. Am J Gastroenterol[14] ⑩⑦ 4. Gut[13]⑩⑩ 5. Am J Dig Dis[9]⑩⑨ その他13タイトル
内分泌系 102件	1. J Clin Endocrinol Metab[57]④⑥ 2. Endocrinology[27]⑦① 3. J Endocrinol[4]②① 3. Clin Endocrinol[4]②① 3. Clin Endocrinol Metab[4]②① その他4タイトル
免疫・アレルギー 398件	1. J Immunol[174]①① 2. Clin Exp Immunol[97]③⑩ 3. Immunology[66]④① 4. Clin Immunol Immunopathol[13]⑩⑩ 5. Cell Immunol[10]⑩② その他19タイトル
感染症 29件	1. J Infect Dis[22]⑧① 2. Infection[4]②① 3. Am J Epidemiol[1]④⑤ 3. Scand J Infect Dis[1]④⑤ 3. Tubercle[1]④⑤
悪性新生物 403件	1. Cancer[300]④ 2. Cancer Res[28]⑥⑧ 3. Cancer Treat Rep[19]⑧⑦ 4. Br J Cancer [11]②① 5. J Surg Oncol[8]④⑥ その他20タイトル
筋・骨格系・リウマチ学 23件	1. Arthritis Rheum[8]④⑥ 2. Ann Rheum Dis[5]⑥⑥ 3. Acta Rheumatol Scand[2]③② 3. Arch Rheumatologie[2]③② 3. J Rheumatol[2]④② その他4タイトル
脳・神経系・神経学 922件	1. Neurology[252]⑤ 2. Arch Neurol[205]⑦ 3. J Neurol Neurosurg Psychiatry [121]②③ 4. Brain[112]②⑤ 5. Nervenarzt[47]⑤① その他35タイトル
精神医学・臨床心理学 275件	1. Am J Psychiatry[85]③⑥ 2. Br J Psychiatry[67]④⑩ 3. Arch Gen Psychiatry[33] ⑥③ 4. Am J Orthopsychiatry[7]④⑨ 4. J Nerv Ment Dis[7]④⑨ その他37タイトル
小児科学 549件	1. J Pediatr[183]⑨ 2. Pediatrics[147]①⑦ 3. Am J Dis Child[71]③⑧ 4. Arch Dis Child[44]⑤③ 5. Pediatr Clin North Am[20]⑥⑥ その他26タイトル
外科学一般 800件	1. Ann Surg[155]①④ 2. Am J Surg[148]①⑥ 3. Surg Gynecol Obstet[141]④⑧ 4. Surgery[101]②⑦ 5. Arch Surg[44]⑤③ その他34タイトル
整形外科・形成外科学 198件	1. J Bone Joint Surg[153]④⑤ 2. Acta Orthop Scand[17]⑨② 3. Plast Reconstr Surg [7]④⑨ 4. Arch Orthop Trauma Surg[5]⑥⑥ 5. Hand[3]⑤④ その他9タイトル
脳神経外科学 150件	1. J Neurosurg[112]②⑤ 2. Clin Neurosurg[12]①⑥ 3. Acta Neurochir[8]④⑥ 4. Year Book Neurol Neurosurg[7]④⑨ 5. Zentralbl Neurochir[4]②① その他5タイトル
麻酔学 58件	1. Anaesthetist[16]⑨⑧ 2. Anesthesiology[13]①⑩ 3. Anesth Analg[10]④②③ 4. Br J Anaesth[6]⑦⑦ 4. Year Book Anesthesia[6] ⑦⑦ その他3タイトル
眼科学 384件	1. Arch Ophthalmol[121]②③ 2. Am J Ophthalmol[100]②③ 3. Trans Am Acad Ophthalmol Otolaryngol[42]⑤⑤ 4. Br J Ophthalmol[33]⑥③ 5. Ophthalmic Surg[21]⑧⑤ その他17タイトル
耳鼻咽喉科学 329件	1. Arch Otolaryngol[80]③⑦ 2. Acta Otolaryngol[60]④③ 3. Laryngoscope[57]④⑥ 4. J Laryngol Otol[49]⑤⑩ 5. Ann Otol Rhinol Laryngol[41] ⑤⑦ その他14タイトル
皮膚科学 415件	1. Arch Dermatol[381]② 2. Br J Dermatol[16]⑨⑧ 3. Dermatologica[8]④⑥ 4. J Am Acad Dermatol[2]③② 4. Cutis[2]③② 4. J Dermatol Surg Oncol[2]③② 4. J Invest Dermatol[2]③② その他2タイトル
泌尿器科学 133件	1. J Urol[66]③⑨ 2. Urology[23]⑦⑨ 3. Clin Nephrol[10]④②③ 3. Br J Urol[10]④②③ 5. Nephron[5]⑥⑥ その他9タイトル
産婦人科学 85件	1. Am J Obstet Gynecol[40]⑤⑧ 2. Obstet Gynecol[23]⑦⑨ 3. Clin Obstet Gynecol[5] ⑩⑥ 3. Obstet Gynecol Annu[5]⑥⑥ 5. Gynakologe[2]③② 5. Br J Obstet Gynaecol [2]③② 5. J Gynecol Obstet Biol Reprod[2]③② その他6タイトル
公衆衛生・衛生学0件	
口腔外科 ・歯科学 34件	1. J Prosthet Dent[6]⑦⑦ 2. J Oral Surg[5]⑥⑥ 3. Br Dent J[4]②① 3. J Am Dent Assoc[4]②① 5. Oral Surg Oral Med Oral Pathol[3]⑤④ その他8タイトル
看護学 5件	1. Nurs Clin North Am[2]③② 2. Am J Nurs[1]④⑤ 2. Nurs Forum[1]④⑤ 2. Nurs Mirror[1]④⑤

表 2. 和雑誌分野別利用ベスト 5

総利用タイトル数 367

総利用件数 5,656

〔 〕は利用件数

○は利用総合順位

医学一般 1,318件	1.日本医事新報〔272〕① 2.日本臨牀〔183〕③ 3.医学のあゆみ〔130〕⑦ 4.総合臨牀〔105〕⑪ 5.最新医学〔93〕⑬ 6.北野病院紀要〔76〕⑲ 7.臨牀と研究〔70〕⑳ 8.広島医学〔17〕㉑ 8.基礎と臨床〔17〕㉑ 10.Medicina〔16〕㉕ 10.日本医師会雑誌〔16〕㉕ 10.臨床科学〔16〕㉕ 10.医療〔16〕㉕ その他89タイトル
生物学 0件	
解剖・発生・組織・細胞学2件	1.解剖学雑誌〔1〕㉕ 1.Okajimas Folia Anat Jpn〔1〕㉕
遺伝学 1件	1.遺伝学雑誌〔1〕㉕
生理学 13件	1.Equilib Res〔11〕㉞ 2.Jpn J Physiol〔1〕㉕ 2.臨床生理〔1〕㉕
生 化 学 22件	1.蛋白質・核酸・酵素〔16〕㉕ 2.生化学〔4〕㉕ 3.化学の領域〔1〕㉕ 3.脂質生化学研究〔1〕㉕
薬理学・薬学 57件	1.薬局〔49〕③ 2.医人薬人〔2〕㉞ 2.薬学図書館〔2〕㉞ 4.Jpn J Antibiot〔1〕㉕ 4.Jpn J Pharmacol〔1〕㉕ 4.最近の新薬〔1〕㉕ 4.新薬と臨床〔1〕㉕
病理学 5件	1.日本病理剖検輯報〔3〕㉞ 2.Acta Pathol Jpn〔1〕㉕ 2.日本病理学会会誌〔1〕㉕
微生物学・ウイルス学 (寄生虫病学) 6件	1.日本細菌学雑誌〔2〕㉞ 2.寄生虫学雑誌〔1〕㉕ 2.臨床と細菌〔1〕㉕ 2.臨床とウイルス〔1〕㉕ 2.Microbiol Immunol〔1〕㉕
臨床病理学 23件	1.臨床病理〔23〕⑥
臨床化学 6件	1.臨床化学〔6〕⑬
臨床検査 222件	1.臨床脳波〔147〕⑥ 2.臨床検査〔58〕⑥ 3.日本超音波医学会研究発表会講演論文集〔8〕⑫ 4.超音波医学〔4〕㉕ 5.脳波と筋電図〔3〕㉞ その他1タイトル
診断・治療 87件	1.診断と治療〔66〕④ 2.治療〔15〕② 3.ICUとCCU〔2〕㉞ 4.日本化学療法学会雑誌〔1〕㉕ 4.診療〔1〕㉕ 4.診療手帖〔1〕㉕ 4.総合リハビリテーション〔1〕㉕
放射線医学・X線学・核医学 52件	1.日本医学放射線学会雑誌〔30〕⑤ 2.臨牀放射線〔22〕④
内科学一般 185件	1.内科〔126〕⑨ 2.日本内科学会雑誌〔43〕⑦ 3.神経内科〔13〕⑨ 4.内科宝函〔3〕㉞
代謝・栄養 19件	1.臨床栄養〔9〕⑪ 2.代謝〔3〕㉞ 3.栄養学雑誌〔2〕㉞ 3.栄養と食糧〔2〕㉞ 3.家政学雑誌〔2〕㉞ その他1タイトル
血 液 学 84件	1.臨床血液〔43〕⑦ 2.日本血液学会雑誌〔21〕④ 3.脈管学〔7〕⑫ 4.血液と脈管〔5〕⑫ 5.産婦人科血液〔1〕㉕ その他3タイトル
老年医学・老人学 9件	1.臨床成人病〔5〕⑫ 2.日本老年医学会雑誌〔2〕㉞ 2.老年病〔2〕㉞
心臓・循環器系 159件	1.呼吸と循環〔106〕⑩ 2.心臓〔40〕④ 3.日本循環器学誌〔7〕⑫ 4.Jpn Heart J〔6〕⑬
肺・呼吸器系 123件	1.胸部外科〔44〕⑤ 2.日本胸部臨牀〔31〕⑤ 3.日本胸部外科学会雑誌〔30〕⑤ 4.日本胸部疾患学会雑誌〔15〕⑤ 5.肺と心〔2〕㉞ その他1タイトル
消化器系 135件	1.胃と腸〔52〕③ 2.肝臓〔37〕④ 3.日本消化器病学会雑誌〔34〕④ 4.日本肝臓病研究会プロシーディングス〔4〕㉕ 5.日本大腸肛門病学会雑誌〔3〕㉞ その他3タイトル
内分泌系 65件	1.ホルモンと臨牀〔30〕⑤ 2.糖尿病〔21〕④ 3.日本内分泌学会雑誌〔11〕㉞ 4.Endocrinol Jpn〔3〕㉞
免疫・アレルギー 86件	1.アレルギー〔70〕② 2.臨床免疫〔13〕⑨ 3.免疫と血液〔2〕㉞ 4.消化器と免疫〔1〕㉕

感染症 15件	1.結核〔6〕 ¹³⁵ 2.感染症学雑誌〔3〕 ¹⁰⁴ 3.抗酸菌病研究所雑誌〔2〕 ¹⁰⁰ 3.京都大学結核胸部疾患研究所紀要〔2〕 ¹⁰⁰ 5.結核彙報〔1〕 ²⁵ 5.日本らい学会雑誌〔1〕 ²⁵
悪性新生物 90件	1.癌の臨床〔56〕 ²⁸ 2.癌と化学療法〔12〕 ¹⁰⁵ 3.肺癌〔7〕 ¹²⁷ 4.日本癌治療学会誌〔6〕 ¹³⁵ 5.Gann〔4〕 ¹⁵¹ その他3タイトル
筋・骨格系・リウマチ学 1件	1.リウマチ〔1〕 ²⁵
脳・神経系・神経学 244件	1.脳と神経〔128〕 ⁸ 2.神経研究の進歩〔102〕 ¹⁴ 3.脳と発達〔8〕 ¹²² 4.自律神経〔5〕 ¹⁴⁵ 5.自律神経雑誌〔1〕 ²⁵
精神医学・臨床心理学 277件	1.精神医学〔104〕 ¹³ 2.精神神経学雑誌〔60〕 ²⁵ 3.臨床神経学〔29〕 ⁵⁶ 4.心身医学〔13〕 ⁹⁸ 5.臨床精神医学〔12〕 ¹⁰⁵ その他19タイトル
小児科学 238件	1.小児科臨床〔77〕 ¹⁸ 2.小児医学〔44〕 ³⁵ 3.小児科診療〔36〕 ⁴⁵ 4.日本小児科学会雑誌〔30〕 ⁵¹ 5.小児科〔18〕 ⁶⁹ その他9タイトル
外科学一般 317件	1.臨床外科〔82〕 ¹⁶ 2.手術〔78〕 ¹⁷ 3.外科〔34〕 ⁴⁷ 4.外科治療〔32〕 ⁴⁹ 5.日本小児外科学会雑誌〔27〕 ⁵⁷ その他9タイトル
整形外科・形成外科学 352件	1.整形外科〔216〕 ² 2.日本整形外科学会雑誌〔74〕 ²¹ 3.中部日本整形外科災害外科学会雑誌〔39〕 ⁴² 4.臨床整形外科〔7〕 ¹²⁷ 5.形成外科〔6〕 ¹³⁵ その他5タイトル
脳神経外科学 14件	1.脳神経外科〔6〕 ¹³⁵ 2.Neurologia Medico-Chirurgica〔3〕 ¹⁰⁴ 2.脳外科特別問題懇話会講演録〔3〕 ¹⁰⁴ 4.神経外科〔2〕 ¹⁰⁰
麻酔学 61件	1.麻酔〔58〕 ²⁶ 2.臨床麻酔〔3〕 ¹⁰⁴
眼科学 146件	1.臨床眼科〔40〕 ⁴⁰ 2.日本眼科学会雑誌〔30〕 ⁵¹ 3.日本眼科紀要〔27〕 ⁵⁷ 4.眼科臨床医報〔19〕 ⁶⁸ 5.眼科〔15〕 ⁸² その他4タイトル
耳鼻咽喉科学 545件	1.耳鼻咽喉科〔154〕 ⁴ 2.日本耳鼻咽喉科学会会報〔152〕 ⁵ 3.耳鼻咽喉科臨床〔105〕 ¹¹ 4.耳鼻と臨床〔75〕 ²⁰ 5.耳鼻咽喉科展望〔27〕 ⁵⁷ その他4タイトル
皮膚科学 40件	1.皮膚科の臨床〔14〕 ⁶⁶ 1.日本皮膚科学会雑誌〔14〕 ⁶⁶ 3.臨床皮膚科〔5〕 ⁴⁵ 4.西日本皮膚科〔3〕 ¹⁰⁴ 5.皮膚〔2〕 ¹⁰⁰ 5.皮膚と泌尿〔2〕 ¹⁰⁰
泌尿器科学 116件	1.日本泌尿器科学会雑誌〔51〕 ³¹ 2.臨床泌尿器科〔25〕 ⁶⁰ 3.西日本泌尿器科〔16〕 ⁷⁵ 4.泌尿器科紀要〔14〕 ⁸⁶ 5.日本腎臓学会誌〔9〕 ¹⁰⁸ その他1タイトル
産婦人科学 165件	1.産婦人科治療〔43〕 ³⁷ 2.助産婦雑誌〔36〕 ⁴⁵ 3.産科と婦人科〔24〕 ⁶¹ 4.産婦人科の世界〔23〕 ⁶² 5.臨床婦人科産科〔17〕 ⁷¹ その他8タイトル
公衆衛生・衛生学 28件	1.母性衛生〔18〕 ⁶⁹ 2.防衛衛生〔2〕 ¹⁰⁰ 2.国立予防衛生研究所年報〔2〕 ¹⁰⁰ 2.社会保険旬報〔2〕 ¹⁰⁰ 5.保健通信〔1〕 ²⁵ 5.日本自動化健診学会会誌〔1〕 ²⁵ 5.東京都衛生局学会誌〔1〕 ²⁵ 5.山梨大学保健管理センター紀要〔1〕 ²⁵
口腔外科・歯科学 69件	1.歯界展望〔17〕 ⁷¹ 2.日本口腔科学会雑誌〔11〕 ¹⁰⁰ 3.日本口腔外科学会雑誌〔10〕 ¹⁰⁴ 4.口腔病学会雑誌〔6〕 ¹³⁵ 4.口腔衛生学会雑誌〔6〕 ¹³⁵ その他13タイトル
看護学 240件	1.看護〔53〕 ²⁹ 2.看護技術〔51〕 ³¹ 3.看護教育〔45〕 ³⁴ 4.看護学雑誌〔39〕 ⁴² 5.看護研究〔14〕 ⁸⁶ その他11タイトル
病院管理 19件	1.病院〔16〕 ⁷⁵ 2.日本病院会雑誌〔2〕 ¹⁰⁰ 3.病院設備〔1〕 ²⁵

表3. 洋雑誌における分野別利用上位5誌の充足率

	総利用件数	総利用タイトル数	1位の雑誌の分野内 利用充足率(%)	2位までの雑誌の分野内 利用充足率(%)	3位までの雑誌の分野内 利用充足率(%)	4位までの雑誌の分野内 利用充足率(%)	5位までの雑誌の分野内 利用充足率(%)
医学一般	2,258	117	20.5	34.7	45.2	52.3	58.0
生物学	7	6	28.6	100.0			
解剖・発生 組織・細胞学	20	10	60.0			70.0	100.0
遺伝学	15	6	26.7	66.7		93.3	
生理学	40	9	70.0	77.5	87.5		100.0
生化学	59	19	37.3		45.8	59.3	
薬理学・薬学	50	25	16.0	26.0	34.0	52.0	
病理学	60	14	40.0	56.7	66.7	75.0	80.0
微生物学・ウイルス学 (寄生虫病学)	32	14	37.5		65.6		
臨床病理学	48	2	79.2	100.0			
臨床化学	35	7	51.4	68.6	80.0	88.6	94.3
臨床検査	49	5	73.5	93.9	100.0		
診断・治療	11	6	54.5		72.7	100.0	
放射線医学 X線学・核医学	457	26	43.3	81.0	83.6	88.0	
内科学一般	316	5	57.9	88.0	94.9	97.8	100.0
代謝・栄養	75	6	42.7	80.0	89.3	96.0	98.7
血液学	236	22	52.5	74.6	78.0	80.9	85.2
老年医学 老年学	6	3	66.7	100.0			
心臓・循環器系	353	18	27.2	54.1	78.8	87.8	92.6
肺・呼吸器系	234	13	42.3	69.2	87.2	93.6	96.2
消化器系	221	18	55.2	63.8	70.1	76.0	80.1
内分泌系	102	9	55.9	82.4	94.1		
免疫・アレルギー	398	24	43.7	68.1	84.7	87.9	90.5
感染症	29	5	75.9	89.7	100.0		
悪性新生物	403	25	74.4	81.4	86.1	88.8	90.8
筋・骨格系 リウマチ	23	9	34.8	56.5	82.6		
脳・神経系 脳神経	922	40	27.3	49.6	62.7	74.8	79.9
精神医学 臨床心理学	275	42	30.9	55.3	67.3	72.4	
小児科学	549	31	33.3	60.1	73.0	81.1	84.7
外科学一般	800	39	19.4	37.9	55.5	68.1	73.6
整形外科 形成外科学	198	14	77.3	85.9	89.4	91.9	93.4
脳神経外科学	150	10	74.7	82.7	88.0	92.7	95.3
麻酔学	58	8	27.6	50.0	67.2	87.9	
眼科学	384	22	31.5	57.6	68.5	77.1	82.6
耳鼻咽喉科学	329	19	24.3	42.6	59.9	74.8	87.2
皮膚科学	415	9	91.8	95.7	97.6	99.5	
泌尿器科学	133	14	49.6	66.9	82.0		85.7
産婦人科学	85	13	47.1	74.1	85.9		92.9
公衆衛生学 衛生学	0	0	0	0	0	0	0
口腔外科学 歯科	34	13	17.6	32.4	55.9		64.7
看護学	5	4	40.0	100.0			
病院管理	0	0	0	0	0	0	0
合計／平均	9,874	701	37.9	57.2	68.4	75.5	79.7

表 4. 和雑誌における分野別利用上位 5 誌の充足率

	総利用件数	総利用タイトル数	1位の雑誌の分野内 利用充足率(%)	2位までの雑誌の分野内 利用充足率(%)	3位までの雑誌の分野内 利用充足率(%)	4位までの雑誌の分野内 利用充足率(%)	5位までの雑誌の分野内 利用充足率(%)
医学一般	1,318	102	20.6	34.5	44.4	52.4	59.4
生物学	0	0	0	0	0	0	0
解剖・発生 組織・細胞学	2	2	100.0				
遺伝学	1	1	100.0				
生理学	13	3	84.6	100.0			
生化学	22	4	72.7	90.9	100.0		
薬理学・薬学	57	7	86.0	93.0		100.0	
病理学	5	3	60.0	100.0			
微生物学・ウイルス学 (寄生虫病)	6	5	33.3	100.0			
臨床病理学	23	1	100.0				
臨床化学	6	1	100.0				
臨床検査	222	6	66.2	92.3	95.9	97.7	99.1
診断・治療	87	7	75.9	93.1	95.4	100.0	
放射線医学 X線学・核医学	52	2	57.7	100.0			
内科学一般	185	4	68.1	91.4	98.4	100.0	
代謝・栄養	19	6	47.4	63.2	94.7		
血液学	84	8	51.2	76.2	84.5	90.5	91.7
老年医学	9	3	55.6	100.0			
心臓・循環器系	159	4	66.7	91.8	96.2	100.0	
肺・呼吸器系	123	6	35.8	61.0	85.4	97.6	99.2
消化器系	135	8	38.5	65.9	91.1	94.1	96.3
内分泌系	65	4	46.2	78.5	95.4	100.0	
免疫・アレルギー	86	4	81.4	96.5	98.8	100.0	
感染症	15	6	40.0	60.0	86.7		100.0
悪性新生物	90	8	62.2	75.6	83.3	90.0	94.4
筋・骨格系 リウマチ学	1	1	100.0				
脳・神経系 神経学	244	5	52.5	94.3	97.5	99.6	100.0
精神医学 臨床心理学	277	24	37.5	59.2	69.7	74.4	78.7
小児科学	238	14	32.4	50.8	66.0	78.6	86.1
外科学一般	317	14	25.9	50.5	61.2	71.3	79.8
整形外科学	352	10	61.4	82.4	93.5	95.5	97.2
脳神経外科学	14	4	42.9	85.7		100.0	
麻酔学	61	2	95.1	100.0			
眼科学	146	9	27.4	47.9	66.4	79.5	89.7
耳鼻咽喉科学	545	9	28.3	56.1	75.4	89.2	94.1
皮膚科学	40	6	70.0		82.5	90.0	100.0
泌尿器科学	116	6	44.0	65.5	79.3	91.4	99.1
産婦人科学	165	13	26.1	47.9	62.4	76.4	86.7
公衆衛生学	28	8	64.3	85.7			100.0
口腔外科学	69	18	24.6	40.6	55.1	72.5	
看護学	240	16	22.1	43.3	62.1	78.3	84.2
病院管理	19	3	84.2	94.7	100.0		
合計 / 平均	5,656	367	40.1	61.3	72.7	80.4	85.0

参考文献

- 1) 津田良成, 裏田武夫 現行外国雑誌(医学・歯学)ベストテン調査——日本医学図書館協会——. 医学図書館 1964; 11(4): 165-71.
- 2) 丹野 要 Circulation Counting. 医学図書館 1964; 11(4): 177-84.
- 3) 井田章子 雑誌利用度調査——東京女子医大図書館——. 医学図書館 1964; 11(4): 193-98.
- 4) 今村慶之助, 青木孝雄 複写利用頻度からみた重要雑誌——東大医学図書館統計より——. 医学図書館 1964; 11(4): 185-91.
- 5) 本田品子 国立がんセンターにおける雑誌の利用調査. 医学図書館, 1965; 12(4): 191-203.
- 6) 本田品子 国立がんセンターにおける職種別図書利用調査. 医学図書館 1966; 13(3): 211-6.
- 7) 尾原忠雄 医学逐次刊行物の寿命調査——徳島大学医学図書館 主要雑誌を主体として——. 医学図書館 1967; 14(3): 241-51.
- 8) 山川幸雄 医学逐次刊行物の寿命調査. 医学図書館 1967; 14(3): 253-64.
- 9) 田中久文 国内の総合的臨床医学雑誌における引用文献調査. 医学図書館 1964; 11(5): 221-33.
- 10) 本田品子, 長谷川湧子 国立がんセンター図書館における資料利用の動向とその理由. 医学図書館 1971; 18(3): 227-32.
- 11) 前田和博, 河島裕子, 本田品子 国立がんセンター図書館における貸出利用統計. 医学図書館 1979; 26(3): 71-7.
- 12) 関川雅彦, 田辺文子 東京大学医学図書館の洋雑誌貸出統計分析. 医学図書館 1983; 30(2): 134-9.
- 13) 関川雅彦 引用文献分析における図書館の評価. 医学図書館 1981; 28(2): 100-5.
- 14) 河野しげみ, 浦上陽子, 植手鉄男 北野病院図書室における図書利用分析への考察(1)院内所蔵図書の利用度と院外図書への依存度(1978-1982). 医学図書館 1986; 33(2): 156-63.
- 15) 西岡正行 医学図書館における雑誌の選択・評価. 医学図書館 1981; 28(4): 268-82.

*

*

*